M　　- JRNの使命

2000年を前にした1999年、「珈琲屋メーリングリスト」という自家焙煎店経営者の小さな集まりから発展し、2000年には「珈琲の味方塾」を旗揚げし、この12年間品質について、ひたすら追い求めてきました。

奇しくも、ITC国連プロジェクトの流れから1999年に開催された、事実上の第1回目のカップ・オブ・エクセレンス、「ベスト・オブ・ブラジル」の潮流と共にもたらされたスペシャルティコーヒーをオンタイムで触れさせていただく貴重な経験もさせていただき、おかげさまで多くのお客様をはじめ、世界中の生産者の方々に私たちのグループの存在を知っていただくことができました。

この2013年4月、「スペシャルティコーヒー」をキーワードに、生産者に限らず、ロースターからお客様まで未来に向けて複数で繋がって行きたいという想いから、グループの名称を「Japan Roasters' Netwaok.」（JRN） へと改めました。

様々な取り組みを通し、より多くのお客様にご満足いただける素晴らしいコーヒーをお届けするべく、共に歩んでくださっているたくさん生産者の方々と力を合わせて努力して参ります。どうぞ、今後とも「Japan Roasters' Network」をよろしくお願いいたします。

A　　- 生産者との信頼関係づくり

継続的に素晴らしいコーヒーをお届けするためには生産者の皆さんとの信頼関係が何より大切だと考えています。そこで私たちは、結成時から12年の年月を掛けて、各国の生産者と”売り手と買い手の関係を超えた”パートナーシップを築いてきました。

生産現場の数だけ存在する地域社会や環境問題を共に考え、共に解決に向けて歩みを重ねていくことは彼らのモチベーションの向上に繋がり、それは即、おいしさに直結していきます。具体的な取り組みとして…

●「エルサルバトル」のモンテシオン農園では、農園の託児所建設資金の一部援助

●「グアテマラ」や「ホンジュラス」の生産者には、代金の６割から全額の前払いや肥料代の援助、設備投資をサポートし、今後も継続していきます。

Q　　- 高品質コーヒーへの挑戦

現在、「スペシャルティコーヒー」の需給バランスは崩れ、国内のみならず世界中のロースターとの競争の中、素材調達ネットワークの構築が不可欠な状況です。そこで、私たちは足繁く生産国を訪れ、テイスティングで高評価のものだけを買い付けています。

また、国際品評会「カップオブエクセレンス」への参加をはじめ、その上位入賞豆の落札とその後の関係構築に努めています。価値ではなく、常に品質に目を向け挑戦を続けています。

■ 主な訪問生産国

South America 南米
●コロンビア
●ブラジル
●ボリビア

Central America中米
●エルサルバトル
●グアテマラ
●コスタリカ
●ニカラグア ●パナマ
●ホンジュラス
●メキシコ

Africaアフリカ
●エチオピア
●ケニア
●ブルンディ
●ルワンダ

M　　-「新メンバーを随時募集!!」